

4.18 八戸学院光星高等学校の創立記念日

昭和31年4月18日、学校法人白菊学園として初代理事長中村由太郎先生によって設立された本校は、八戸市内初の私立の男子校として誕生しました。開校式は、校舎建設中のため八戸商業高等学校を仮校舎として行われました。普通科2学級での開校でしたが、同年10月の校舎完成を機に現在の湊高台に移転し、昭和43年度には生徒数1500人を越える県内随一のマンモス校に成長しました。その後、学科再編や新設を経ながら歴史を積み重ねてきました。

建学の精神は、「神を敬し、人を愛する」です。このことは、カトリシズムの精神に基づき道德教育を施し、人格の完成を期し、新時代の要請する有能の人材を育成することを目的とするという本校の教育理念の大本になっています。

校訓は「正義・賢明・剛毅」。創立以来の「質実剛健」の校風は、しっかりと受け継がれ、昭和39年には女子を迎えて男女共学となり教育の多様化を推進し、個人尊重、文武両道という教育方針を掲げ、学習と部活動に成果を上げてきました。

現在は、普通科・保育福祉科・ビジネス科・工業技術科とも、それぞれの特性を活かした教育を行っており、各科とも法人内の系列上級学校（八戸学院大学【地域経営学部・健康医療学部】、八戸学院大学短期大学部【幼児保育学科・介護福祉科】）への進学者も年々増加しており、進学を希望する生徒は、今から勉強に取り組んでいくことが大切です。

部活動は、運動部・文化部ともに活動的に行われ、多くの部が全国大会を目標に活動しています。あわせて部活動を通して人間教育も大切にしています。挨拶の励行は当然ですが、さらに、地域の奉仕活動も積極的に実践しています。

卒業生は現在2万名を越え、各界で多くの先輩が活躍していますが、在校生の皆さんも歴史と伝統のある八戸学院光星高等学校の一員として誇りと自信を持ち「さわやか光星」のキャッチフレーズどおり、さわやかな高校生活を過ごしましょう。

○校章



当初、校章のデザインを第一回生から募集、光星学院高等学校の「光」を図案化した上村麟児君の作品を採用。

○60周年記念モニュメント



生命の川
cosmos

東京藝術大学教授 北郷 悟 氏 製作
ガラス玉は、宇宙をイメージしています。
ブロンズ部分は、空から雨が降り、
地上から水蒸気として上がり循環して
生命が育まれていく地球の創生や
勢いよく流れる川をイメージしています。